

瑞岩寺報

2010.08.01
(平成22年 葉月)

【お盆号】

……………
瑞岩寺にお墓のある方へ
……………

お墓のお掃除について

【日時】 8月1日(日)

【時間】 午前6時頃から

お盆が近づいてきました。お墓のお掃除をしましょう。お盆前の一斉お墓掃除を右記のごとく行ないます。たまには早起きしてお墓掃除も気持ちいいものです。お子さんやお孫さんといっしょにどうぞ。

※強制ではありません。この日この時間でないといけないということではありません。

※自分のお墓の掃除が終わったら通路など共有

の場所のお掃除も積極的にお願います。
※遠方の方はお寺でやっておきますのでご安心ください。
※飲み物を用意してあります。

お盆のご案内

お盆法要

今年のお盆法要は左記の通り行なわれます。昨年とは時間が異なります。ご注意ください。

【期日】 8月7日(土)

【時間】 午後2時～

【お盆の供養料】

▼先祖供養塔婆 5,000円

▼新盆供養塔婆 10,000円

【内容】 檀信徒すべての精霊のお盆法要をします。

▼新盆塔婆供養

▼先祖塔婆供養

▼『般若心経』

▼御詠歌

※法要後、お塔婆をお持ち帰りください。

※粗品を用意してまいります。必ず出欠席のハガキを返送ください。

お盆参り

【期日】 8月4日(水)～8月12日(木)

昨年より始めました各家へのお盆のお参りはお盆法要終了後から開始します。4日から12日まで、副住職が早朝から夜まで約320軒の檀家まで

8月お盆参り予定日程 ※多少変更される場合もあります

4日(水)	太田市外(群馬県外・前橋館林地区)
5日(木)	太田市外(足利・桐生地区)
6日(金)	太田市内(太田地区)
8日(日)	萩原地区・その他
9日(月)	七日市・落内・唐沢地区
10日(火)	丸山・清水・反丸地区
11日(水)	矢田堀地区
12日(木)	矢田堀地区

【時間】 早朝=6:00am～9:00am / 午前=9:00am～12:00pm
午後=12:00pm～3:00pm / 夕方=3:00pm～6:00pm

Attention!! ※以下の点にご留意ください

●お盆法要について

お盆供養塔婆について、「必要」・「不要」を返信ハガキに記入してください。「必要」の場合はお盆法要に「出席」・「欠席」も記入してください。

「必要」で「欠席」の場合は、必ず8月7日以降に塔婆を受け取りにお出でください。

塔婆供養料の振込み用紙を同封します。毛里田地域の方は世話人さんにお渡しください。お寺に直接こられない方は同封の振込用紙をお使いください。

県外の方でお塔婆をお供えできない方は瑞岩寺でお墓にお供えいたします。ご一報ください。

塔婆を受けられる方は風呂敷などを、ご持参ください。

●お盆参りについて

お盆参りについて「必要」・「不要」をハガキに記入してください。「必要」と記入されたお宅には、8月初めにお参りします。

「不要」ならびに「返信なし」の場合はお参りには伺いません。

※『必要』だが、日時が合わない」という方は、希望日をお書きのうえ、必ず期日までに返送ください。調整いたします。

※返信期日は7月30日(必着)です。期日までに必ずお送りください。その結果により順番を決め、お参りします。

●永代供養墓・水子供養墓関係者の方へ

『永遠のいのち』永代供養墓または水子供養墓にお入りになっている方については、永代供養のお約束ですので瑞岩寺で責任をもってお盆の供養をしておりますが、個別でのお塔婆を希望される方はお申込みください。供養料は前項にある通りです。

●ペット供養墓関係者の方へ

ペットの合同供養は左記の通り行なわれます。

【日時】 8月7日(土) 午前10時より

【お盆のペット供養料】 4,000円

※強制ではありませんので、ご供養してあげたい方のみご参加ください。



んです。もし、私の母がいたら、もし母がひとりぼっちだったら家の中にひとりでおかない。沢山の人が集まる中にいれてあげたい。あなたが寂しい顔をしていたら、周りも寂しくなる。あなたが笑顔になれば、周りも笑顔になる。その人たちが地域に帰っていったら地域の人も笑顔になれる。もしかしたら、日本全国が明るくなるかも知れませんよ。

私は宗教家でも政治家でもないのですが、私のできることは音楽を通してみなさまになにかを伝えるということです。

不思議なんですけど、言葉、音楽というのは、「霊(たましい)をつけるんです。」言葉(ことだま)「音霊(おとだま)」と違って感じるものであったり、霊(たましい)というのはそういうものなんだなあって思うと、「あっ！ 風になったんだなあって胸を張って、「風になってるんだから、星になってるんだから、もしかしたら鳥になってるかもしれない」って。だから、万物の霊を大切にあげて欲しいなっていう気持ちになります。

古来からの手を合わせるという『ありがたい』という気持ち、人間がもったこの両手、それを合わせるこの愛おしさや温もり、自分で自分の温もりが分かるのって、この手のひらかなと思っただけ、自然に合掌してしまっただけです。

魂のキャッチボール

副住職◆◆ 中島さんも音楽を通じて変化がありましたか？

中島啓江◆◆ 変わりましたね。一緒に生きていくという感じですね。言葉ととも。その人にな

にか語りかける、私の場合はメロディがついていますが、でも私のコンサートは「歌りべ」と言われてますけど、「歌」と「語りべ」が入っている。私の場合は自然と言葉がでてくる。胸がつまみたり、トーンが上がってみたり、抑えてゆっくり伝えてみたり、一人の私の言葉が1000人、1000人の魂(たましい)とのキャッチボールだと感じられるようになりました。今まで歌に苦しんでいたこともあるんですが、なんか不思議なきっかけで自分の目が開いたとき、すごく歌が楽になりました。

実は永六輔さんの『生きるものの歌』がなかなか歌えなかったんです。重くて重くて歌えないんです。これは自分がしてもらったことに対する感謝、軽い気持ちの感謝では、自分がつらいときにあの人が助けてくれたという心の底からの気持ち

ち、フッと湧いてでてくるような、そんな気持ちにさせてくれるのがこの『生きるものの歌』だったんです。「人は必ず死にます」という永さんのセリフの出だしなんです。「人はいつか別れる、殺されなくてもいのちは終る」それがとても重かったんです。

私は母の葬式のとときに、手と手を合わせるのとが人の輪廻を表しているような気がしたんです。生まれてきて…、死んで…、また生まれて来て…。右手から左手へ、そしてまた右手から左手へ、それが重なる場所が合掌の手のひら。

私の信じることは、悲しいときは泣いて下さず、楽しいときは笑ってください、涙は神様がくれた、とても大切なプレゼントだからということです。

でも、実際私、母がなくなったときには涙はで

うんです。アルバムの中の曲も、多くの人のリクエストをいただいたり、決して一人で作っているのではありません。名曲のひとつひとつに長い歴史があり、多くの作詞家、作曲家のみなさんの想いがあります。そして、私にはそのことへの尊敬の念があります。CD1枚作るのは大変なことです。CDは自分の子どものような気持ちなんです。私の子どもはみな2000円なんです(笑)。沢山の人の聞いてもらいたいんです。恩返しのため…。

死んだことを否定するのではなく、全うしたのだと。そして、人がいつまでも語ってくれるように

ないいい人生を過ごしてもらいたい…。短い人生だからこそ、笑顔の数が多いように。

歌を通じて思うこと

レコーディングでも『千の風になつて』はほんとうに胸が熱くなるような想いで歌いました。これにはちょっとしたエピソードがあるんです。私はチェロの音が好きなんです。チェロの音は女性の声に似ているので、それは絶対にいれたかったです。それは母の声のような気がしたんです。一回通してピアノとチェロでやりました。チェロの人は今まで私の歌を聞いたことがなかったんですね。でも、ノーマリスでもよくできました。だけど、そのチェロの人は、「すみません。もう一度録らせてください。僕は今までいいメロディだなと思って練習してきました。でもここに来て啓江さんの歌声を聞いたら涙が流れて来ちゃって、譜面がよく見えなかった。もしかしたら音階をどこか間違っていて弾いているかもしれない。ちゃんと譜面を見てもう一度弾かせてください。」と言ったんです。私はそれを聞いて、この人はなんていい言葉をくれたんだろうって。言葉が伝わったんだあって。演奏者ってメロディを聞く人が多いなかで、こんなことがあるんだあって。このCDを聴いて元気になってくれた方から手紙をもらったりして、自分をもっと高めなきゃって思うんです。

最初は「私はいいい曲を歌っているのよ」という思いで歌っていました。しかし、今は全く違います。人間って歳を重ねるとすばらしいことになると思いません。

「私がお墓の中に入れません。」という歌詞があまり

すね。私は霊(たましい)が導かれていく家はあると思っています。そしてそこで、言葉の霊(たましい)になったり、音の霊(たましい)になったりする。その波動に包み込まれるようになったら、きっと、もっといいだろうと思いがながら…。人は皆、何がすばらしいか、すばらしいか、をちゃんと判断できるものだと思います。本当にその人が信じて、好きになって、元気になるれば、それはすばらしいことだと思っています。

ただ、一番大切なものというものを大切にできない、そういう宗教はあってはならないと思うし、憤りを感じます。

私と宗教の出会い、永六輔さんなんです。お坊さんというところは知らずに作詞家として永さんの詩ばかり読んでいたんです。それを歌っていた坂本九さんのバックコーラスを夢見ていたんです。しかし、その夢が叶う間際に九さんが亡くなりました。だからこそ、私がこの歌を唱おうという強い想いがあります。それがすごい縁なんです。三木トリー先生に興味がありまして、きっと永さんなら知っているだろうと思って紹介してもらおうと思つて楽屋を訪ねたんです。そうしたら、私が訪ねるちょうど数時間前に三木先生が亡くなられたんです。「これが何かの縁なのかも知れないね」と言われたんです。

数日後、永さんから連絡があって、「三木さんの音楽葬があるのでちょっとお願いがあるんだよねえ」と。「お経が始ったらキューを出すから、正面からアメイジング・グレイスを唱いながら入ってきて祭壇の前で絶唱してくれないか」と。そうしたら、翌日の新聞一面に私の全身アップの写真が載って三木先生の写真がその横に小さくなってたんです。本当に三木先生すみませんという気

持ちでした。でも、お経と歌ってよく合つたんです。驚きました。

生きる力

母が亡くなってからの10年間は、泣き腫らしていた10年間なのに、ほんとうにいろんな出会いがありました。もしかしたら母が呼んでくれたのかなと思うくらいいろんな人にお会いしました。ありがたいお言葉もたくさんいただきました。多くの人に「ありがとう」と言ってもらえるようになった。」「ありがとう」とは魔法の言葉だと言っているんですけど、自分は歌を唱うのが仕事なのに、「ありがとう」と言われてしまったと嬉しくなるんです。講演後にサインをするのですが、いつも「ありがとう」と書いて書くんですよ。そうしたら、小さい子どもから、「僕がありがとうと言っているのになんか啓江ちゃんがありがとうって書くの？」って言われたんです。「だって私のサインもらつてくれるからありがとうなんだよ」と言ったんです。そしたら、「ああ、そうか。でも僕はなんて言ったらいいの？」って(笑)。子どもとそんなことがあったりして、本当に有難いです。

私も子ども頃のいじめられたんですが、でも最近いじめられた子が仕返しという形で、自死を選ぶという。自分がいじめられたことで自分が上にいる。自分の死をもっていじめた子の名前を書き記すということ。それは決して仕返しにはならないんだということを大人たちがいわなきゃいけないと思います。いのちを救わなきゃいけないですね。

あまり話したくないのですが、思い出すと涙がでてくるので…。でも、生きる力というのは何かって言うと、それは「今生きていること」なんだと思います。生きているから今がある。

私がいじめっ子に、母が教えてくれた「ありがとう」という言葉を言ったとき、その子が「ごめんなきい」と謝ったんです。その改心が私の子ども時代にはもったもったと思います。私はそのいじめっ子のごとを褒めたたえた。謝れるんですよ。すばらしいです。

いじめっ子もいじめられた子も両方抱きしめられたらいいですね。みんなが元気で明るく生き抜けるということは、周りの人への「感謝」があることだと思うんです。だから「ありがとう」という言葉はすごい！と思うんです。母はいつも「すごいんだよ、この言葉は」って教えてくれていたんです。

私こんな体験の話がみなさんにできたらって思っています。是非、多くの方にお会いできるよう、今から楽しみにしています。





太田インターより信越、中央高速、淡路島を抜け、四国の徳島県まで約9

4月の10日から21日まで、信徒さんと四国八十八カ所のお遍路に行つてま

通常、四国中のお寺を参拝するわけです。四国で一番高い山の頂上にある

本当は、50日かけて歩きたい気持ちが高ぶっていたのですが、それでは保

時間。極楽寺に到着。2日目より1番

四月の半ばとはいえ、日本列島にまだ寒さが残るなか、高速道路からも

まず驚いたのは、私の想像以上に歩き遍路の多いことでした。

それでも例年より少ないそうですが、200人以上は歩いて

や、ご兄弟、外国人の方も少なくありませんでした。

こんなにくさんの人が、なぜ歩くのでしょうか？ 人生で大きな挫折を味

やはり、心を落ち着けて自分を見つめるには、旅は徒歩でなくてはしつ

ぜ徒歩なのか？ 私は、①自分の力で、②地に足をつ

大きな挫折を味わえば、人は自信を失います。親を亡くした人、子どもに

もう、自分は立ち直れないのではないかと、自分が必要としないのでは

お経は意味がわかればそれはそれですが、意味がわからなくても

悲しむものではなく、読んで味わうものであり、むしろ楽しむべきもので

しかし、そんなときでも、私たちが確実に前に進める方法があります。歩

お遍路の途中に「おせったい」と呼ばれる、みかんや飲み物などがありま

それから、何よりも感動できるお経といえ、自分と信徒さんが一緒に大

自分か沢山の仏弟子たちと一緒にお釈迦様の説法を聞いているような一体感

そして、87、88カ寺目で結願（けちがん）したときの感動は忘れられませ

いよいよ最後は、高野山の奥の院への参拝。ここは空海大師が未だに修行

奥の院だけは、撮影禁止。お参りの仕方ですべて作法が決まっています。

この空海大師が未だに修行されている御廟の前で、みなで各家先祖代々の供

養、また瑞岩寺檀信徒各家先祖代々、有縁無縁諸精霊、とすべての人々の幸

お遍路はスタンプラリーではありません。お遍路をすることによって自分

お遍路を終え、少しお遍路の魅力が分かったような気がしました。合掌。

四国八十八カ所 お遍路紀行

家制度の変容が墓を変えた

—多彩なメニュー、自ら選ぶ時代に—

東洋大学教授 ● 井上治代

『週刊朝日』より転載

現代の変わりゆくお墓の流れは、4つのキーワードでくくることが出来ます。「脱継承」「双方化」それに「自然志向」「個人化」です。

これまでのお墓は家が単位でした。「〇〇家の墓」を継承していくことが家族の幸せであり、家族のメンバーである自分の幸せでもありました。

継承が前提ですから、そこに個性が入り込む余地はありません。葬儀や供養も、残された家族に委ねていけばよかったです。

ところが高度経済成長が続いて、核家族が主流になると、変化がおきはじめます。親家族と子家族が同居しない。子どもがいない夫婦二人の最晩年は、どちらかが亡くなって「同居」です。それでは家がつながっていかない。

1990年前後から永代供養墓に代表される継承を前提としない「非継続墓」が次々と生まれました。少子高齢化が進み、夫も妻も墓の継承者というケースも多く、夫方、妻方の双方と一緒にまつる「両家墓」も増えました。環境意識の高まりや業者主導の葬送儀礼への反発から、樹木葬や散骨といった自然にかえる葬法も登場しています。

介護機能が外部化されたように、看取りや葬儀、死者の供養といった家族の機能がどんどん衰退していくと、必然的に自分がどう生きどう死んでいくか、「個」が向き合うことになる。90年代以降、「自分らしい葬儀」と「自分」という言葉が頻繁に使われだしたのはこのためです。

まさに「終活」が必要な時代です。「生前墓」や、オリジナルで墓石をデザインする人が出てきているのも、こうした流れです。

お墓の引越越しあり、リフォームあり。いまはメニューが増えて何でもでき、自分で選べる時代です。

たとえば、父が既に他界し、ふるさとに母を一人残して都会にでてきた息子や娘。その母が亡くなったら、ふるさとの墓に入れてあげたいけれど、自分は田舎に帰る気はない。どうしたらいいか。この場合、ふるさとの永代供養墓に母や先祖を入れ、遺骨の一部を持ってくれば、ふるさとに残りたい、でも子どもたちと一緒に墓に入りたいという親の思いを同時にかなえられます。

家族間、世代間で墓に対する考えが違ふ場合は、焦って決着をつける必要はないと思います。親世代の希望は尊重してあげて、自分たちの希望は親たちが亡くなってから考えても遅くない。個を尊重するということは、自分だけでなく相手の希望も尊重することですから、

墓のかたちがどんどん変わる一方、継承する人がいるかぎり、「〇〇家の墓」といった従来型の墓もなくならないでしょう。家族やゆかりのある人と

一緒に墓に入って眠れることに、人が本来感じる心地よさがあります。家の継承システムは変容しても、家族で入れる、そこにゆかりのある人たちが訪ねていける。その良さは変わらなず残っていくはずですよ。

(いのうえ・はるよ) 1950年生まれ。

NPO法人「エンディングセンター」理事長。著書に『墓をめぐる家族論(平凡社)』『より良く死ぬための』(吉波書店)など。

お知らせ

●『あんのん墓苑』完成

墓地の不足と新しい墓地の形を考えた瑞岩寺墓地南側に『あんのん墓苑』が完成しました。このような仕様の墓苑は、群馬県では瑞岩寺だけです。

あんのん墓苑には、「一般墓地区画」「WTC(ペット墓地区画)」、「永代供養墓地区画」とがあります。

「永代供養墓地区画」は、「相続可能型」で、個々の納骨式になつていきます。また、相続する方がいなくなった場合でも、連絡が途絶えて13年後まで瑞岩寺が責任をもって供養します。

- ▼ 一般墓地区画(小区画) 23万円
- ▼ 一般墓地区画(普通区画) 42万円
- ▼ WTC(ペット墓地区画) 52万円
- ▼ 永代供養墓地区画(相続可能型) 80万円(造成費込)

生前の宗派などは一切問いません。詳しくは、瑞岩寺までお問い合わせ

ください。

●県内初の樹木葬墓地『木もれ陽(こもれび)』建築中!

瑞岩寺では、宗派を越え、かつ跡継ぎを必要としない、樹木葬墓地「木もれ陽」(個別型永代供養墓)を建設中です。

「木もれ陽」は、最近注目されている自然葬のひとつ、樹木葬のお墓で、墓石などは建立せず、シンボルツリーの周りの芝生に納骨するもので、親子、夫婦での使用も可能(2人まで)です。また、もし継承者がいなくなっても、瑞岩寺が基金運用によつて管理を続け、33回忌または、連絡が途絶えて13年後まで責任をもって供養します。

自然に還る永遠性と、血縁にとどまることなく同じ地に眠る縁ある方々が共に供養しあう共同性。そしてそれを支える瑞岩寺の宗教を形にしたものです。個別の区画は追憶としての最小限の大きさにとどめ、全体として安らぎの空間を大切にしました。

* * *

●墓参の際のお願い

墓参の際、墓前にお供えのお供物はカラスや犬猫などが食荒らし汚れます。佛様は香りとお気持ちのみ頂きますので、お参りが済みましたらお持ち帰り下さるようお願い申し上げます。お団子もできましたら下にアルミホイルを敷いていただく掃除がしやすく衛生的です。

また、古い塔婆はゴミ箱に捨ててはいけません。お寺でお焚き上げを

しますので寺務所へお持ち下さい。

* * *

●悩み事・困り事の相談

悩み事・困り事の相談は無料です。必ず電話(37-1231)にて予約してお越し下さい。相談の内容が外部に漏洩することはありません。

相談時間は午前9時から午後7時まで。夜間・深夜の相談は受けません。

* * *

●祈願・厄除など……

厄年厄除、家内安全、商売繁昌、身体健康、学業成就、安産守護、家族祈願、自動車祈願などを受け付けております。

法要は、毎日12時よりお参りいただけます。

ご供養、ご祈願、ペット供養、水子供養は、電話、ファックス、電子メールなどで受け付けております。

すべての人に佛さまの智慧と慈悲を

宗教法人 慈眼山 瑞岩寺

群馬県太田市矢田堀町 388
Tel: 0276-37-1231 / Fax: 0276-37-1729
E-mail: info@zuiganji.com
Website: http://www.zuiganji.com
i-mode: http://www.zuiganji.com/i/

※御意見、御要望はいつでもお知らせ下さい。
※お身体をお大切に、お健やかに暮らしてくださいませ。
み仏さまの御加護を心から祈りいたします。合掌